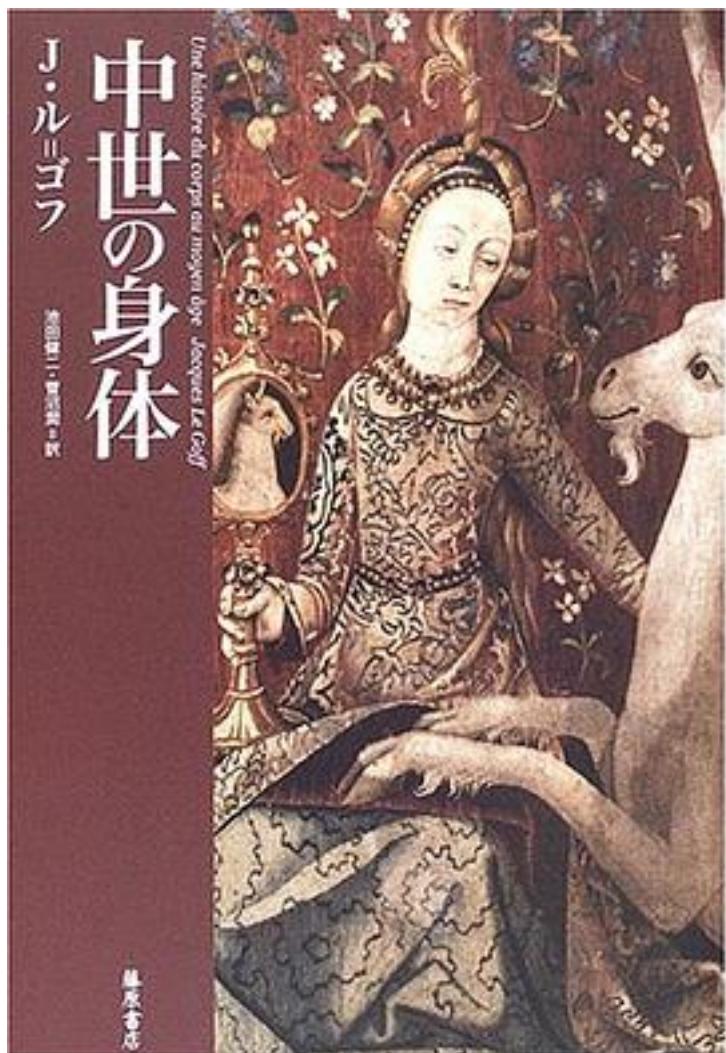


# 中世の身体



[中世の身体 下载链接1](#)

著者:Jacques Le Goff

出版者:藤原書店

出版时间:2006-06

装帧:四六判

isbn:9784894345218

西洋文明の根幹は「身体」にある。ミシュレ、モース、エリヤス、アドルノ、フーコー、ブロックなど、従来の身体史の成果と限界を鮮やかに呈示し、「他のいかなる時代よりも現在の原型である」中世の重要性を説く。「身体」に多大な関心を示し、これを称揚すると同時に抑圧した、西洋中世キリスト教文明のダイナミズムの核心に迫る。大好評『中世とは何か』に続く、待望の第2弾。

## 作者紹介:

### 目録: はじめに —— 出来事としての身体

#### 序 —— 身体史の先駆者たち

ジュール・ミシュレ —— 魔女と身体 マルセル・モース —— 身体の技術  
ノルベルト・エリヤス —— 身体の文明化 歴史学と身体 —— マルク・ブロックの遺産 ホルクマイヤーとアドルノ —— 身体と西洋の野蛮 ミシェル・フーコー —— 「生の権力」の下での身体 その他の先行研究 なぜ中性の身体か 身体の歴史と現在

#### I 四旬節と謝肉祭の闘い —— 西洋のダイナミズム

##### 大きいなる無欲

精液と血液のタブー 性、さげすむべきもの 理論と実践

抑圧の起源 —— 古代後期 大転換の担い手、キリスト教

支配される女 聖痕と鞭打ち 精進と肉食

##### 身体の反抗

謝肉祭と異教文化 石の蛇と柳の竜 労働 —— 苦役と創造の間で

涙の恩恵 笑いをまじめに考える 監視される夢

#### II 生と死

##### 人生の道のり

人生の年代 「彼らは寝たのだろうか」ついに、子供の誕生

老人の威儀と意地悪さ

##### 病と医

ペスト —— 突然の野蛮な死 癱病 —— 魂の病 「適正な配合」

と四体液説 友なる体 尿と血液 ガノレスの仮面の下で

スコラ医学の限界 救済社会 体を開く死者と死にゆく者

死にゆく者の聖務日課 死者たちの存在 あの世の身体

#### III 身体の文明化

##### 食道楽と美食

食習慣の2つの道 2つの食生活、2つの文化の出会い 良いマナー

##### 身体の演出

裸体か着衣か 女の美、エバかマリアか 入浴 身ぶりの文明

##### 身体の諸相

異形 スポーツ?

#### IV メタファーとしての身体

身体メタファー —— 人間=小宇宙

心臓 —— 錯乱する身体 頭 —— 統率機能 肝臓 —— 偉大なる敗者

手 —— 両義的な道具

その政治的使用

メネニウス・アグリッパの寓話 頭か心臓か 目が頭にあるごとく

国家は1つの体である 摆らぐ頭の支配 頭は足の上に 王と聖人

都市の身体

結び —— ゆるやかな歴史

訳者あとがき

原注

文献一覧

人名索引

· · · · · (收起)

[中世の身体](#) [下载链接1](#)

标签

身体史

年鉴学派

评论

---

[中世の身体](#) [下载链接1](#)

书评

---

[中世の身体](#) [下载链接1](#)